

事業の評価書（平成23年度）

池田市長 様

池田地域コミュニティ推進協議会
会長 梶山 一實

記

<事業名>	<予算額> (千円)	<頁>
・ 地域自主防災体制強化事業	542, 000 (補助金)	1
栄本町地域防災会・資機材の配備		(!)
上1 防災会・資機材の配備		(2)
校区・合同防災訓練		(3)
防災講演会		(14)
・ 地域防犯推進事業	300, 000 (補助金)	1 6
防犯公演会		
・ 池田地域コミュニティ推進協議会事務所設置事業		1 7
	241, 000 (補助金)	
・ 「ちいさな絵本館」整備事業	3, 152, 000 (請負費)	1 8
推進事業	2, 060, 000 (補助金)	
・ MTP フェスティバル実施事業	400, 000 (補助金)	2 5
・ 市民リクリエーション大会事業	308, 000 (行事報償金)	2 6
・ 地域掲示板設置事業	879, 000 (修繕料)	2 7
・ 地域コミュニティ紙等 発行事業	310, 000 (補助金)	2 8

※評価方法

各自主防災会で評価

各部会毎で評価

協議会役員会で最終照査してまとめを行う

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	地域自主防災体制強化事業（校区・合同防災訓練）
事業実施前の状況	前年度は、午前中に訓練、午後講演会の形態を取ったが、参加者の多数から、ほぼ1日拘束されると参加しにくいとの意見あり。また前回の参加は防災会加入者のみであった。
事業実施後の状況	参加者の地域の拡大、年齢層拡大を1つのテーマとし、炊き出し（アルファ米・豚汁）を実施したことによるものか多数の参加をいただいた。（平成23年11月20日実施） <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・大会次第・訓練時程・参加者数集計 ・ 「ご意見」集・新聞投稿 } 別紙参照
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般参加者数の増加（60人）に依り、未結成地域での組織化が加速される傾向が見受けられる。（2～3町会） 2. 8防災会の担当者（女性も含む）の参加を得て、4回の事前協議を実施したので、8防災会間のつながりが出来た。 3. 同じ町内においても交流のなかった人とのつながりが出来た。 <p style="text-align: center;">「ご意見集」・新聞投稿 別紙参照</p>
今後の課題等	協議会の安全安心のまち部会が、主動的立場で実施してきたが、今後は、8防災会（既存）が主体となり、部会は補助的な立場で活動すべく、検討したい。

池田校区 8 自主防災会 合同

建石町防災会、城南防災会、大和町防災会、ザ・ライオンズ池田防災会
上 1 防災会、栄本町地域防災会、槻木町防災会、上 2 防災会

防災訓練・実施

校区の皆さん、ご家族揃って是非ともご参加下さい。

期日 平成23年11月20日(日)
時間 9:30~12:00 小雨決行
場所 池田小学校 グランド・体育館

☆ 安全と防災意識を学びましょう。

室内で煙にまきこまれたら対処できますか、
消火器は即時に使用できますか、
倒れた人を見れば介助できますか、

☆ 避難所の食事を味わって下さい。

自主防災会の皆さんが、食事を作ってお待ちしております。

災害時の **消防隊・自衛隊** の勇姿を見よう。

池田市消防本部・陸上自衛隊伊丹駐屯地 第36普通科連隊

大阪ガス(株) が緊急災害時対応のご相談に応じます。

随般の事情で内容が変更する場合があります。

主催 **池田地域コミュニティ推進協議会**
安全・安心のまち部 防災部会

共催 池田市市長公室危機管理課・池田市消防本部

協力 池田警察署・池田小学校・陸上自衛隊第36普通科連隊・大阪ガス

池田小学校区地域安全情報		池田警察署	交通事故発生状況 (")		計 98・件
犯罪発生状況 (H23年1~9月)		計 52・件	新 町 14・	建石町 0・	菅原町 5・
空き巣 4・	オートバイ盗 9・	車上ねらい 16・	綾羽1,2 6・	上池田 4・	栄 町 6・
忍び込み 0・	自転車盗 14・	部品ねらい 8・	栄本町 6・	城 南 40・	槻木町 3・
自動車盗 1・	ひったくり 0・	自販機狙い 0・	城山町 1・	大和町 0・	西本町 13・

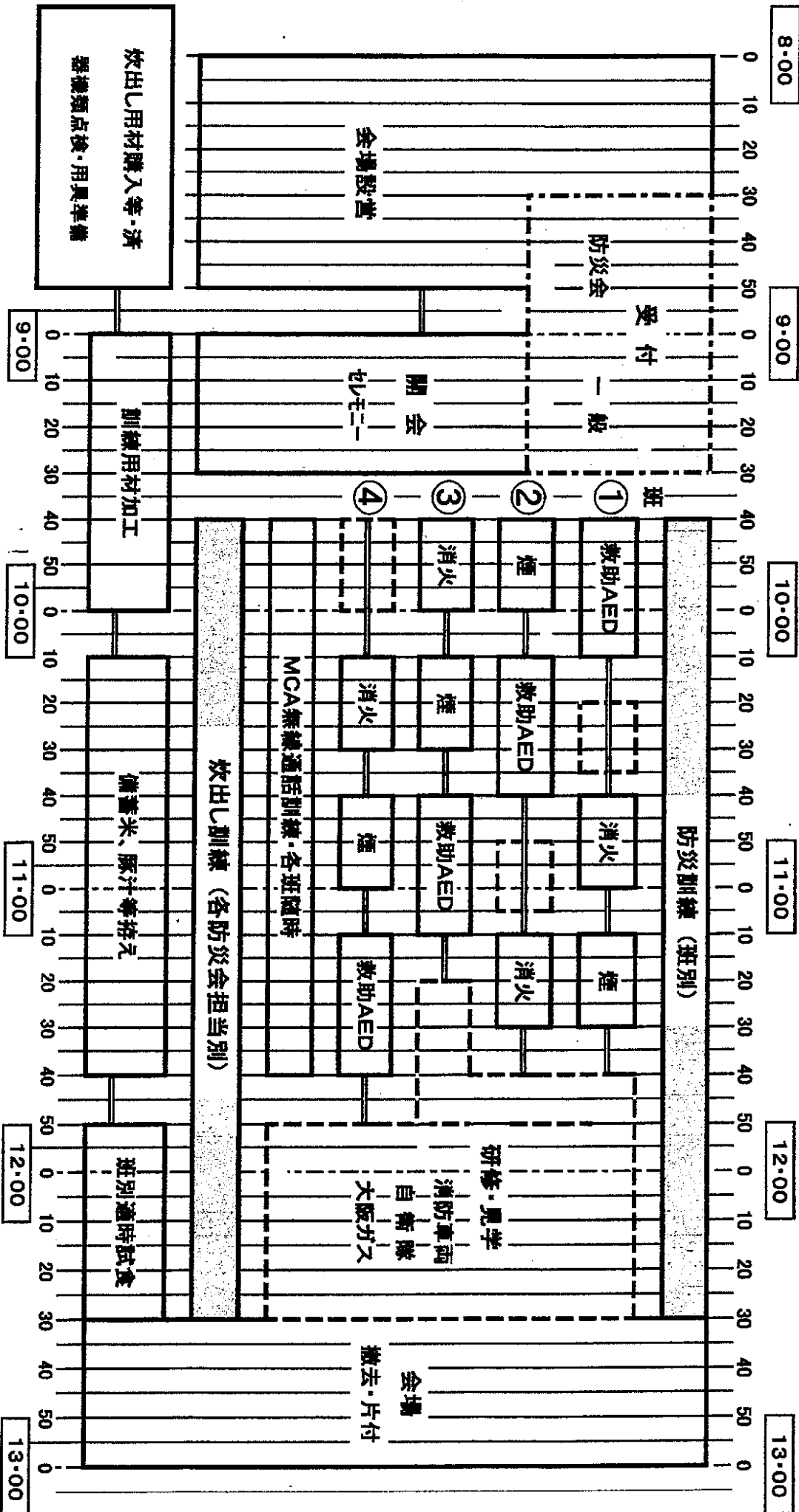
大会次第

- A 会場準備・設営 グランド、体育館（訓練等） 8:00 ~ 9:00
- B 開会セレモニー 体育館 9:00 ~ 9:30
- 1 参加者整列
 - 2 会長、来賓、挨拶等
 - 3 池田警察署、防犯注意事項説明
 - 4 訓練進行概要説明
- C 防災訓練（市危機管理課、消防本部主導） 9:40 ~ 11:40
- ① 煙体験 各班別、時程表遵守（≒20'）
 - ② 消火器 "（≒20'）
 - ④ AED・救助 "（≒30'）
 - ④ MCA無線 "（アキ時間）
- D 炊出し訓練（自主防災会共同分担作業） 10:00 ~ 12:30
- 食材等加工、搬入 ~ 10:00
 - 煮炊き 10:00 ~ 12:00
 - 参加者全員配布、試食 11:40 ~ 12:30
- 備蓄米パック詰、豚汁椀入、お茶 各コーナー
- E 展示コーナー 10:00 ~ 12:30
- 消防車両
 - 災害派遣車両及び活動記録等
- 陸上自衛隊第3師団・第36普通科連隊（伊丹駐屯地）
- 大阪ガス（株）
- 災害時緊急相談等
- F 会場片付け 12:30 ~ 13:00

訓練時程(班別)

※ 一般参加者(防災会以外)は、下記班に分割組入.....担当責任者 適切指示

参加者班別 防災会(一般)	① 班 (防) 建石町・城南 ② 班 (防) 大和町、ザ・ライオンス池田 (一般参加者)	(一般参加者)	③ 班 (防) 柴本町地域、槻木町 ④ 班 (防) 上1、上2 (一般参加者)	(一般参加者)
------------------	---	---------	--	---------



校区・第2回 防災合同訓練 (H23年度)

参加者数 集計

池田地域コミュニティ推進協議会
安全・安心のまち部会
二見谷

防災会 申告数

1. 建石町防災会	42名	
2. 城南防災会	70名	
3. 大和町防災会	41名	
4. ザ・ライオンズ池田防災会	42名	
5. 栄本町地域防災会	73名	(未加入者 8名含む)
6. 上1 防災会	70名	
7. 槻木町防災会	17名	
8. 上2 防災会	47名	

一般参加 (記帳者のみ)

(402名)

9. 栄町町内会	8名	(会長 参加)
10. 綾羽2丁目町内会	26名	(会長 参加)
11. 綾羽1丁目自治会	3名	(会長 参加)
12. 城山町町内会	5名	(会長 参加)
13. 新町会	5名	(会長 参加)
14. 菅原町西町会	1名	(会長 参加)
15. 西本町町会	6名	(会長 参加)
16. 市職員 村下氏	1名	
17. NPOセンター 青戸氏 (女性)	1名	
18. 町名不明 太田氏 (女性)	1名	
19. 井口堂 ご家族	3名	

(60名)

計 462名

第2回 校区合同防災訓練を終えて

新会員・防災会員の皆様の

「ご意見」集

平成24年1月

掲載に当たりましては、届きました内容を出来るだけそのまま活字としましたが、一部はもとの通りに写し取れてないものもありますことをご了承下さい。

- 1 合同防災訓練の回数／年 及び時期 () 内ご意見者数
- 1) 年1回 (22) ————— 5月又は6月 (3)
- | 9月 (2)
- | 10月 (1)
- | 11月又は秋、冬 (16)
- 2) 年2回 (1) ————— 暖かい時 (梅雨時除く) 及び寒い時 (1)
- 3) 年2回 (2) ————— 時期 明示なし
- 但し、合同1回・個別1回

- 2 合同防災訓練の実施曜日及び時間帯 () 内ご意見者数
- 1) 日曜日————— 午前中 (18)
- 土曜日又は日曜日 (5) ————— 午前中 (5)
- 土曜日・日曜日・祝日のいずれか (1)・午前中————— (1)
- 学校の休日 (1) ————— 午前中 (1)

- 3 実施して欲しい訓練 (複数回答) () 内ご意見者数
- 1) 応急処置 (三角布のつけ方・包帯の巻き方・止血・骨折福木の当て方) — (6)
- 2) AED (人工呼吸等含む) ————— (7)
- 3) 従来通りの基本訓練 (参加するメンバーが変わるので) ————— (10)
- 4) 住民避難・点呼 (防災会ごとに誘導者のもと入場も含む) ————— (2)
- 5) 年度ごとにテーマを絞って————— (1)
- 6) レスキュー犬などのPR (犬を連れてきてのふれあい・パネル掲示等) (1)

- 4 各訓練にかかる時間について () 内ご意見者数
- 1) もう少し時間に余裕がほしい (1時間～2時間も含む) (5)
- 2) AED・応急処置もう少し長く (多くの人に体験してほしいので...) (8)
- 3) 今回通り (スムーズに対応できた) (10)
- 4) 訓練の内容により時間調整 (2)

5 準備会議について

() 内ご意見者数

1) 回数

- ①3回(7) 1回目 概案討議
2回目 要項決定・役員等実施者決定
3回目 運営面での確認等徹底
※4回目は事務局のみで

②2回(3) 自主防災会員も1～2名参加

③効率的に・回数は多くなくてよい・関係者だけで必要に応じて・役員会で決めて欲しい(各1)

2) 曜日・時間帯

- ①土曜日 (2) —— 18:00又は19:00から2時間
②平日(水又は木) (1) —— 19:00～21:00
③夜間 (1) —— 勤めが有るので
④午前中 (1) —— 主婦だから
⑤特に意見なし (20)

6 準備会議の内容について

- 1) 自主防災組織での開催と自覚を持って欲しい。
- 2) 担当者の訓練内容の理解及び参加者への説明等があれば尚良し。
- 3) 訓練内容等の決定を早くする。(内容について討論できる)
- 4) 連絡方法などの徹底。
- 5) 前回の反省と共に、学校・児童生徒の参加を。

7 作業の分担・担当者の決め方及び内容について

- 1) 各作業の責任者を明確にし、他のスタッフに作業上の混乱が生じないようにすべし。
(役割分担をもう少し細かく決めるも含む)
- 2) 防災訓練なので合同での役割を決めておくのはむづかしい、各町会で担当者を明確に。
- 3) 訓練の種類別に各防災会が担当しては。
(例: AEDは〇〇部会・消火器は△△防災会というように)
- 4) 各地域防災会で決めておき準備会で点検する。

8 全体会議だけで良かったのか

() 内ご意見者数

- 1) 作業分担後は分科会でやる方がよい (19)
- 2) 全体会議で良い(以降分科会へ) (5)
- 3) 余り複雑にしない (1)

- 9 準備会議全般についてご意見をお聞かせ下さい () 内ご意見者数
- 1) 今回の作業で良い (1 2)
 - 2) 各自主防災会として意見統一にての会合が望ましい (1)
 - 3) 会議の回数を減らす工夫としては (1)
 - 4) 年初に日程・会場も決める。大きく分けて各防災会の役割りも決める (1)
 - 5) 参加者が大勢でも発言が限られているのでは…。仕方のない事でしょうか (1)
 - 6) 毎回出席者が異なっている会があり、連絡がうまくいってなかった (1) ように思う
(理解されていなかったチームがあった様に思う) (1)
 - 7) 事後報告が無い (1)
- 10 会場準備・設営について () 内ご意見者数
- 1) 指示系統が明確でなかった。 (2)
 - 2) 指示を受けたいのに責任者がどこに居るのか判らず困ったとの声を聞いた。明確な場
を決めて常に指示出来る者が常駐してはどうか。訓練本部を明確にすべきではなかつ
たか。 (5)
 - 3) 災害対応に緊急性、柔軟性が求められることを考えると、現行のように各防災会が各々
準備を行う形式で良いと思います。 (1)
 - 4) 役員さんはご苦勞ですが、各地域から役割分担して会場準備にあたる。 (1)
 - 5) テントの場所は事前に決めておいた方がよかった。 (2)
 - 6) テントの配置には一考を要する。(コ型、ロ型、二等型等) (4)
- 11 受付業務について () 内ご意見者数
- 1) 受付等の重要性を重視して、目立った位置に、考慮が足りなかった (正門近くにテン
トを張って等) (5)
 - 2) 各防災会毎に受付した方が良い (1)
 - 3) 各防災会は各テントで受け。一般受け場所は張り紙等で周知 (1)
 - 4) 受付担当の役割りがはっきりしていなかったのでは (1)
 - 5) 準備会議で400食と決めていたのに、当日参加者がオーバーしても受付から連絡が
なく最終混乱した。 (1)
- 12 開会セレモニーについて () 内ご意見者数
- 1) 特に来賓に気を使わなくてよいのでは (1)
 - 2) 短時間の方が良い (2)
 - 3) 各防災会のプラカードを準備しては (並ぶところが分らず困っていた) (1)
 - 4) 壇上にあがって顔がわかるように後の人は見えない (1)
 - 5) 簡潔で良かった。今回ので問題なし (1 3)

13 防災訓練について

- 1) 各自に訓練カードをわたして、受講は各自の判断でチェックさせる。
- 2) 各防災会別に集団でまわる。
- 3) 各班の人数が多く、まとまりが悪かったのではないか。移動時連絡がはっきりしなかった。本部があったのか？
- 4) 班割りの班長が徹底していなかった。各防災会の旗をもっとわかりやすく。
- 5) 各防災会が素早く集まる訓練。
- 6) 専門職の指導が欲しい。
- 7) 訓練時間をもう少し多くして欲しい。
- 8) 親しみ、協力しあっていけば良い。

14 炊出し訓練について

- 1) 初の訓練なので戸惑いが随所で見られた。
- 2) 責任者（男）のもと、各防災会責任者（各1+女性）との協議必要。
- 3) 責任者及び指揮命令者が明確でなく、炊き出し手伝い者が困ったとの声を聞いた。
- 4) 分配する時の指令がまちまちで一本化したほうが良い。
- 5) 訓練のはずなのに材料の内容にこだわりすぎるように思いました。実際災害が起きた時に、こだわりの材料がそろうでしょうか。
- 6) 交代でしあっていけば、勉強になります。
- 7) アルファ米 不足していた。受付どうしていた。（連絡不十分）
- 8) 容器うすく熱かった。2枚重ねにしたら。
- 9) 反省点多いと思う。

15 展示コーナーについて

- 1) 自衛隊の所では、子供たちも興味があり良かったです。
- 2) 車輛よりも救援・救護の器具類がみたい。
- 3) 子供も楽しめた。子供が来ると親も来る。老人の参加が少ない。
- 4) 防災備品など及び地震保険のすすめ のコーナーが欲しい。

16 撤去・撤収について

- 1) ごみの撤収に際し、非協力的な面があった。
- 2) 指示する人が説明をすればもっとスムーズにできます。参加者に内容をよく知ってもらうことが必要。
- 3) 机、椅子の搬出入が大変だった。（雨の関係で判断が遅れた為か）
- 4) 炊きだしチームは大変だった。

17 解散について

- 1) 終了の合図、挨拶があった方が良かったと思う
- 2) 閉会式があっても
- 3) 流れ解散は良くない(困っていた人があった)
- 4) 最後の挨拶に力を入れて欲しい(反省の言葉も入れて)
- 5) 炊き出し配分の前に、訓練終了のセレモニーがあった方が良いのでは
- 6) 解散宣言も行われたので、これでよかった
- 7) 要検討

18 今回の合同防災訓練について、お気付きの点をお聞かせ下さい。

- 1) 各自主防災会の組織としてまとまりにかけている面が有るのではないかと
継続していけば前進可能。
- 2) 防災協議会の設立を願う。
- 3) 訓練→炊き出しの食事→撤去→解散の流れが現場まかせの感があった。全体の指示を明確にした方がよいと思う。
- 4) 70名/1防災会の参加は多いのでは? 食事の有るときは不足すると混乱するので事前に調整すること。MAX400名までに...
- 5) 同じ自治会にしながら交流のなかった人達と訓練を通じて親しくなれたので大きな成果。
- 6) 今後も続けて欲しい。
- 7) 30代、40代の人の参加を増やす方法を考える。
- 8) 広報は早めの方が良い。
- 9) 器具等を出し合っていたので、回収して持ち帰るのが困難(特に調理器具)だったのでは。洗って返す、を徹底すること。
- 10) 個人的にはけっこう忙しくて大変だった。

気流



冬の油で

題字・角元正繁
イラスト・野村咲絵

備えの大切さを再認識した訓練

無職 鹿取喜久子 66
(大阪府池田市)

先日、地域の合同防災訓練に参加した。消火器の使い方や煙体験、心臓にショックを与える救命装置「AED」(自動体外式除細動器)の操作等を学んだ。なかでも怖かったのは煙

体験で、周囲が全く見えなくなってしまう、一歩も前に進めなくなってしまう。訓練と分かっていただけからどうにか出口までたどり着けたが、これが本当の建物火災で、煙にまかれたらと思うとぞっとした。

消火器は日頃から目にしてはいるのに、正確な使用方法を知らなかったため、いい勉強になった。AEDの操作も人形を使って分かりやすく説明してもらい、これならいざという時、自分でもできるような気がした。日頃の備えの大切さを再認識させられた有意義な防災訓練だった。



平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	地域自主防災体制強化事業(栄本町地域防災会・資機材の配備)
事業実施前の状況	1. 連絡手段に問題があった ・ ハンドマイクの指向性（範囲が狭い）が強い。 ・ トランシーバーでの連絡は非常に有効（合同訓練で体験済み）であったが、数が不足していた。 2. 防災公演会でとび口の有効性を聞くも未設置であった。
事業実施後の状況	1. 肩掛け型メガホンの設置。1台 2. トランシーバー及びヘッドセットの増設。4セット 3. とび口 1800m/m 設置。2本
事業の効果	1. 現時点では未使用なれど、テストで有効性確認済み。 2. 他事業（子ども会等）で使用し、大変役立っている。 3. 災害時に能力を発揮すると思われる。
今後の課題等	1. 災害の少ない地域に生活しているので、災害に対する危機意識が希薄である。 2. 訓練等へ自発的に参加する住民が少ない。 3. 情報発信等の頻度をあげ、常に危機意識を落ち続けるようにしなければならない。 拓

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	地域自主防災体制強化事業（上1防災会・防災資機材の配備）
事業実施前の状況	1. 消火器が未設置で1次消火に不安があった。 2. 災害時、緊急時の情報伝達手段が未整備であった。 3. 災害避難後の避難場所の環境を整える備品が不足していた。
事業実施後の状況	1. 各班長宅に消火器を設置した。10本 2. ハンドマイクを追加配備した。7台 3. パイプ丸イス、ブルーシートを追加配備した。10脚2枚
事業の効果	1. 1次消火に対応できる体制が多少なり整備された。又、設置によって防火意識の向上が図れた。 2. ハンドマイクの保有台数も増え、緊急時の情報伝達の体制が構築できた。 3. 十分とはいえないが、炊き出し訓練時に協議会に頼りつきりであったが、少しは改善されると考える。
今後の課題等	1. 消火器の保護箱を設置し、耐用年数を延ばすと共に、消火訓練等を行い取り扱いに慣れること。尚一層の防火意識の向上。 2. 各班内及び地域内のひとつひとつの一層のつながりの強化。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	地域自主防災体制強化事業 (防災講演会)
事業実施前の状況	阪神淡路大震災から17年、東日本大震災から11カ月が経過。安全安心なまち (災害の少ない地域) で生活していると、被災者への思いは持ち続けているが、災害の恐ろしさは忘れがちであった。
事業実施後の状況	会場を池小校区から、足場の悪い、市民文化センターの小ホールにしたことにより、参加者の数を心配したが、満席の参加をいただいた。(平成24年2月26日実施) 参加者数202人 防災会53人、友愛クラブ66人、一般76人、 市関係者7人 ・講演内容別紙参照
事業の効果	講演会開催日を、東日本大震災の発生から1年の1週間前としたこと、また講演の内容を東日本大震災に於ける自衛隊の救援活動報告とし、ビジュアルを多用したので分かり易く、自然災害の恐ろしさを再認識できた。各人の防災対策の再確認にも一石を投じたのではないかと。
今後の課題等	校区全住民を対象とした講演会は、費用対効果を考えるとベストの選択ではないのではなかろうか。今後は各町会、自治会及び防災会単位での開催を考えるべきではないかと思う。

防災講演会

自衛隊災害活動報告

ハイチPKO・東日本大震災

日時 平成24年2月25日(土)

13:30~16:30

場所 池田市文化会館小ホール

会次第

- 1 開会 司会進行 松山 洋三
- 2 来賓・講師・主催者紹介、挨拶
来賓・講師・主催者紹介
挨拶 池田市 市長 小南 修身
池田地域コミュニティ推進協議会 会長 梶山 一實
- 3 講演会
第1部 [ハイチ] PKO活動報告
講師 陸上自衛隊・第36普通科連隊長 1等陸佐 足立 寧達
第2部 [東日本大震災] 災害救助活動報告
講師 大阪地方協力本部・北東地区隊長 3等陸佐 西川 猛男
- 4 謝辞
池田地域コミュニティ推進協議会
安全安心のまち部(防災) 部会長 二見谷潤一郎
- 5 閉会

主催 池田地域コミュニティ推進協議会
自衛隊池田協力会

後援 池田市
陸上自衛隊第36普通科連隊
自衛隊大阪地方協力本部

協賛 池田市友愛クラブ連合会

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	地域防犯推進事業（防犯講演会）
事業実施前の状況	<ol style="list-style-type: none">1. 近年、環境や健康に対する意識の高まりなどから、自転車の利用が増え、ヒヤリ・ハットが増加している。2. 児童虐待が新聞紙上ににぎわす状況になってきている。通常の防犯に関する分野以外についての講演会の要望が高い。（平成23年10月23日実施）
事業実施後の状況	<ol style="list-style-type: none">1. 自転車の交通ルール、ひたたくりから身を護るについては、目からうろこの感が強かった。2. 児童虐待、DV（家庭内暴力）については、大変むづかしい問題だが、予備知識となり危機管理に役立つと思われる。
事業の効果	<ol style="list-style-type: none">1. 自転車に関しては、被害者になることはもちろん、加害者にもなる特有の危険を理解できた。2. 児童虐待・DVに関しては、個人での対応は不可能に近い。よって、見聞をした時は結果を考えず専門の窓口にまず通報することがベストであると学べた。
今後の課題等	校区全体での防犯セミナーには、費用対効果から考えても問題がある。今後は各地域ごとの出前講座形式にすべきではないか。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	池田地域コミュニティ推進協議会事務所設置事業
事業実施前の状況	<ul style="list-style-type: none">協議会の事務処理は役員の一部の方々の宅内にて行われていた。協議会内打合せ会議場の確保に手間を要した。
事業実施後の状況	<ul style="list-style-type: none">地域の住民や協議会の役員諸氏の協力を得て事務所の場所が決まった。池田会館を借り受けることが可能となった後、平成23年8月から設置作業を本格的に行った。平成23年10月に設備関係をほぼ完納できた。
事業の効果	<ul style="list-style-type: none">協議会事務処理が事務所内にて統一して実施できた。事務員の採用により事務処理が飛躍的に効率化された。協議会内の定例会議（役員会など）が事務所で開催され密度の高いコミュニケーションができるようになった。11月にホームページを開設できた。池田市の関係諸団体からは、好意的な意見を頂いている。
今後の課題等	<ul style="list-style-type: none">ホームページを会員各位の意見を吸収しながら、月1回ペースで更新しており、充実したホームページに仕上げたい。会員相互のコミュニケーションの場としてさらに活用していきたい。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会

代表者名 梶山 一實

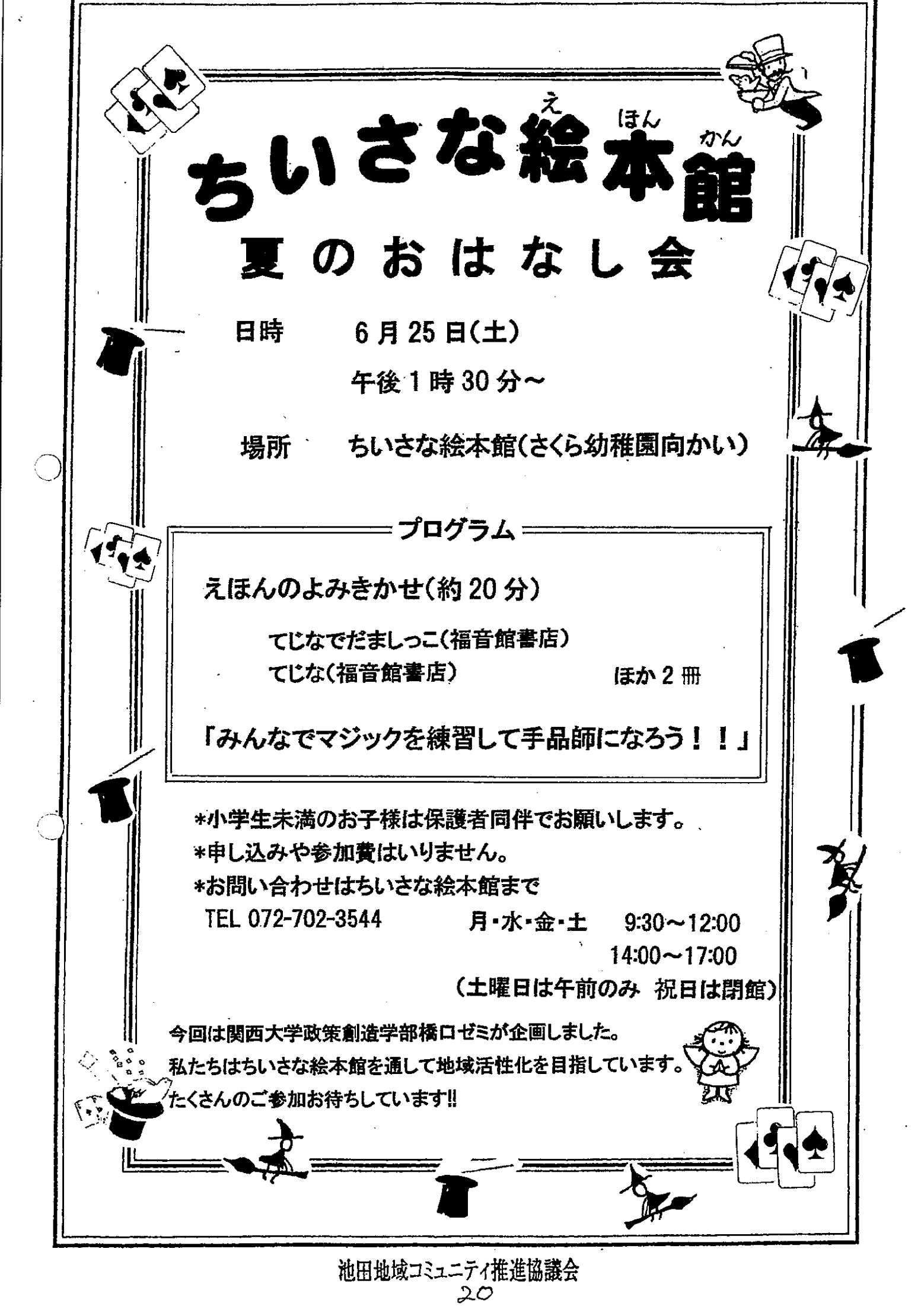


記

事業の名称	「ちいさな絵本館」推進事業
事業実施前の状況	<ol style="list-style-type: none"> 2階 廃屋同然の状況 西面外壁補修塗装未着工 電話回線未施設 H22年9月24日に1階のみの使用で開館、以降年度末までに772人の来館を数える
事業実施後の状況	<ol style="list-style-type: none"> 夏休み期間中に改修工事を施工、8月25日に引き渡しを受け、9月2日から再開館する。但し備品等未整備につき、既4団体及び絵本館主催の特別イベントのみの使用に限定。 西面は人目につかず、防水も問題なし、予算の関係上化粧塗装は見送る。 電話回線設置 イベント・新企画及び実績については別紙参照
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 絵本の貸出、スタンプラリーへの参加、その他様々なイベントを行うことで、「ちいさな絵本館」の存在を地域の方々に知っていただくことができ、来館者数増につながった（延2941人） ボランティアスタッフ、学生さんたちの暖かい思い遣りのある対応のお陰で、開館日の増及び土曜日の終日開館の要望が出るくらい、地域に根付いてきた。
今後の課題等	<ol style="list-style-type: none"> 蔵書の充実増冊 世代間交流の実施 園児、小学生の利用増を図る。 ボランティアスタッフの増員

「ちいさな絵本館」推進事業 イベント・新企画 実績一覧

イベント新企画	実績
<p>改装工事を終えた2階 を使用するの企画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■赤ちゃんとお母さんのための絵本の会 (10月27日・木 実施回数1回) 参加者 おとな7名 こども7名 ■IKEDA文化DAY 探訪ラリー 11月3日～6日・実施回数3回) 子どもクイズ大会や写真展 参加したこどもの数 296名
<p>昨年から継続の企画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■季節のおはなし会 クリスマス 春のおはなし会 参加人数 おとな34名 こども67名 ■関西大学政策創造学部 橋口ゼミによるイベント <ul style="list-style-type: none"> ・手品(6月25日) 参加人数 おとな34名 こども67名 ・ぐりとぐらの親子でカステラづくり(10月29日) 親子7組(おとな7名 こども9名) ・バレンタインカード作り(2月4日) おとな8名 こども18名
<p>新しい取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■IKEDA文化DAY 探訪ラリーに参加 (4日間の来館者数2,475名) ■池田小学校のボランティア体験受け入れ (小学校6年生児童14名) ■絵本の貸出し登録 及び貸出しの実施 (H24年3月末日 登録者数420名) ■土曜日午前の開館 ■専用電話の設置 (ちいさな絵本館 072-702-3544) ■ホームページ開設 池田地域コミュニティ推進協議会 HPの中に 「ちいさな絵本館」コーナー ■絵本館ボランティアスタッフの規約の作成



ちいさな絵本館

夏のおはなし会

日時 6月25日(土)

午後1時30分～

場所 ちいさな絵本館(さくら幼稚園向かい)

プログラム

えほんのよみきかせ(約20分)

てじなでだましっこ(福音館書店)

てじな(福音館書店)

ほか2冊

「みんなでマジックを練習して手品師になろう!!」

*小学生未満のお子様は保護者同伴でお願いします。

*申し込みや参加費はいりません。

*お問い合わせはちいさな絵本館まで

TEL 072-702-3544

月・水・金・土 9:30～12:00

14:00～17:00

(土曜日は午前のみ 祝日は閉館)

今回は関西大学政策創造学部橋口ゼミが企画しました。

私たちはちいさな絵本館を通して地域活性化を目指しています。

たくさんのご参加お待ちしております!!

赤ちゃんとお母さんのための絵本の会

(0才～未就園児対象)

H23

日時 : 10月27日(木)

10時30分～

場所 : ちいさな絵本館 2F

- ※ 申し込みは 10月19日(木)まで。
- ※ 託児希望の方は 事前に下記の申し込み書をご提出願います。
- ※ 託児のない方は 当日の参加は可能です。

申し込み書

お名前 _____

お子様のお名前 _____

年齢 _____

ご連絡先 _____

託児希望 (どちらかに○をして下さい)

あり ・ なし

ちいさな絵本館利用案内

借りられる本は

一人に2冊 期間は2週間

(図書館から借りている本は除く)



クルック

ポッポ

貸し出しカード

池田市内に居住、通勤、通学されていると確認できる公的な書類を、絵本館にお持ちいただき、ちいさな絵本館カードを作成していただきます。

小学生以下のお子さんについては、貸し出しカードを作る際には、保護者の方同伴でお願いいたします。

スタッフにカードをご提示の上、貸し出しの処理をさせていただきます。

借りられた本について

紛失については、同じ本をご購入の上、絵本館にお持ちください。

破損については、スタッフにご相談ください。

返却日に遅れる場合は、絵本館までお電話でご連絡ください。

返却は絵本館開館時に、スタッフまでお願いします。

ちいさな絵本館
池田市菅原町10-14
☎ 072-702-3544

ちいさな絵本館
図書借出カード




ちいさな絵本館
池田市菅原町 10-14
TEL (072)702-3544

☆借りるときは、このカードをお見せください。
☆住所、氏名、電話番号などが変わったときはお知らせください。

池田地域コミュニティ推進協議会

絵本館カード申込み票

No. _____

ふりがな

名前 (男 女)

生年月日 S 年 月 日
 H

住所 〒 _____

連絡先 _____

* ちいさな絵本館 *



池田市菅原町10-14
 TEL 072-702-3544

スタンプが10コたまると
 すてきなプレゼントがもらえるよ。

お名前: _____

枚目



平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	MTP フェスティバル実施事業
事業実施前の状況	開催のチラシ等の配布が学校関係でしか出来無かった為、校区全域に行き渡らなかったので地域の方々の参加が少なかった。
事業実施後の状況	校区全域に開催のチラシ配布が出来、フェスティバルを盛り上げられる様になった。
事業の効果	フェスティバルの知名度が上がり、活動を応援して下さる方が増えた事で、このフェスティバルが地域との繋がりを大事にしている活動である事をアピールできた。
今後の課題等	規模を広げたり、派手にする事よりも地域の皆が楽しみに出来るふれあいの場であったり、池中の卒業生も集まってきて地域の方々との再会を懐かしめるような場になるよう、次世代にもつないでいけるような土台をしっかり作らなければいけないかと思う。また、只のお祭ではなく、MTP フェスティバルの最初のテーマである地域の皆が顔見知りになり、たくさんの人に地域とつながってもらおうという趣旨がぶれない様にしなないといけないと思う。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
代表者名 梶山 一實



記

事業の名称	市民レクリエーション大会事業
事業実施前の状況	去年は池小グラウンドであった。耐震工事の為、今年は、池中グラウンドを借りた。 去年は、協賛金を各町に求めた。
事業実施後の状況	今年、地域コミュニティ推進協議会から、308,000円の行事報償金が付いた。よって各町の負担が軽減でき、参加意欲も向上した。 池小の教師13人、池中の教師5人のご支援を受けた。
事業の効果	参加者は約1200人。 多数の子ども達や一般の参加を得て、相互のコミュニケーションがとれた。
今後の課題等	平成25年度は、池小グラウンドで行い、元にもどる事ができる予定。 参加者全員が1つのプログラムには出場できるプログラムを作成したい。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 梶山一實



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	平成20年の事業計画時には、校区内に大小あわせ30箇所を計画し、その後平成20年度から平成22年度の3年間で、20箇所の設置を終え、ほぼ計画通りの進捗状況にある。
事業実施後の状況	平成23年度は取替え6箇所を計画し、計画通り設置を終えた。 城南1-8 城南会館前 綾羽1-3-21 宮本邸前 城南1-5 谷田邸前 建石町4- 回生病院駐車場横 菅原町9-4 山本邸前 城南1-2 山本駐車場北壁面 以上6ヶ所に配置した。
事業の効果	新設や取替えで設置箇所が増えたこともあり、コミュニティ関係掲示物や公共広報掲示物が注目され、掲示板効果が評価されるようになった。池田地域コミュニティ推進協議会名が明示されていることもあり、当協議会の事業活動としても評価を受けている。
今後の課題等	コミュニティ掲示板が各所に普及したこともあり、地域評価が高まりつつあるが、やや掲示状況に地域差があるようで、今後は利用率を更に高められる事が求められる。

平成24年5月31日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 池田地域コミュニティ推進協議会
 代表者名 梶山一實



記

事業の名称	地域コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	池田地域コミュニティ推進協議会の活動内容や地域の身近なニュースなどを地域住民にPRするため、平成20年度から継続事業としてコミュニティ紙(「コミュニティ通信・いけだ」A3版)を年3回全戸配付する。
事業実施後の状況	地域の世帯数増加に対応するため、発行部数を1回当たり6600部から6800部に増刷し、8月1日(第12号)、12月1日(第13号)、平成23年4月1日(第14号)の計3回発行し、内13号についてはカラー版として配付、池田市広報誌に織り込んだ。
事業の効果	平成23年度の記事掲載についてはより市民目線に近づけることを重視し、ニュース、ソースを集めた。更に目に留めやすくするという意図で、今回初めてカラー版を導入した。 「絵本の館」特集、「池田市内に遺跡発掘」特集、など特集記事に注目が集まったのではないだろうか。
今後の課題等	より多くの方々に関心をもたれるように、ニュースソース並びに紙面のさらなる刷新を含めて積極的に取り組んでいきたいと考えている。さしあたって次年度は全回カラー化する計画である。